

令和5年度シラバス（国語）

学番 44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
国語（言語文化）	3	1 学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	新編 言語文化（大修館書店）・ 新編 言語文化学習ノート（大修館書店） 新訂 チャレンジ常用漢字（第一学習社）			

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 科目の特色・指導の重点

古今の文学作品を読解・鑑賞するための基礎の定着を目指す。自らの考えを表現し、協働的に学ぶ態度を身に付けさせる。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・ 技能	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使っている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 	定期考査 小テスト ノート・課題提出 観察
② 思考・ 判断・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について理解している。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 	定期考査 小テスト ノート・課題提出 観察
③ 主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・文学作品の描写や会話、表現に興味を持ち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。 ・古典を読むことに興味を持ち、学習に意欲的に取り組んでいる。 	ノート・課題提出 観察

4 学習の計画（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）

学期	学習項目	時数	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	現代文編 「ことばは光」 (6時間)	6	・筆者の経験や、ものの見方、考え方を的確に読み取る。	○	○		・定期考査 ・小テスト ・ノート ・プリント ・観察
	「羅生門」 (10時間)	10	・読み取ったことを踏まえて、自分の経験を振り返り、考えを深める。 ・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。		○	○	
	古文編 「児のそら寝」 (7時間)	7	・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。	○		○	

	徒然草「高名の木登り」(7時間)	7	・文章の内容を正確に読み取る。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ・小論文とは何かを理解し、その基本的な書き方を学ぶ。 ・構成メモの作成をし、400字程度の小論文を書く。	○	○	○	
	表現 「小論文を書く」 (7時間)	7		○	○	○	
	中間考査・期末考査	2		○	○		
2 学期	現代文編 「足し算の文化」 (8時間)	8	・日本文化の特徴について筆者の主張を捉える。 ・具体例や対比など構成上の特徴に着目する。 ・作品の構造や語り手の視点を意識しながら、作品を味わう。	○	○		・定期考査 ・小テスト ・ノート ・プリント ・観察
	「とんかつ」 (8時間)	8	・読書に興味をもち、積極的に読書に親しむ。	○	○	○	
	古文編 土佐日記「門出」 (10時間)	10	・音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。 ・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・「ある人」の背景と京への移動手段を把握した上で、内容を理解する。	○	○	○	
	漢文編 訓読のきまり (7時間)	7	・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	○	○	○	
	蛇足 (5時間)	5	・「蛇足」という言葉の意味について、考えを深める。	○	○	○	
	借虎威 (5時間)	5	・この話で語られている教訓の意味を理解する。	○	○	○	
	中間考査・期末考査	2		○	○		
3 学	現代文編 「コルベ神父」 (6時間)	6	・文章の展開の仕方を的確に捉え、筆者の考えを理解する。 ・時代背景や歴史的事実をふまえながら文章を読み、内容の解釈を深める。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・ノート ・プリント ・観察
	「夢十夜」 (4時間)	4	・作品の状況背景を的確に捉え、叙述から人物の心情や象徴性を読み取る。 ・ほかの作品と比較して読むことで、作品の解釈を深める。	○	○	○	
	漢文編 「完璧」(6時間)	6	・訓読のリズムを重視し、確実に読めるようにする。暗唱する。 ・本文を書き下し文にする。 ・現代語訳をしながら、脚間などにとりくみつつ本文の内容を理解する。 ・教材以外の故事成語について積極的に調べる。また、戦国末期の情勢をまとめる。	○	○	○	
	論語 (4時間)	4	・『論語』の内容を正確にとらえ、学問と人生について孔子の考え方を理解する。	○	○	○	
	期末考査 (1時間)	1	・孔子の思想と現代との関わりについて、自分の考えを深める。	○	○	○	

計 105 時間 (50 分授業)

* 領域毎の授業数合計 (考査 5 時間を除く)

領域毎の授業数合計	「書くこと」 7 時間	「読むこと」 【古典】 51 時間 【近代以降の文章】 42 時間
-----------	----------------	---

5 その他 (担当者からの一言・留意点など)

古今の文学作品に触れ、作品の背後に存在する作者の考えに思いを巡らし、人生や世界に対する考えを深めることを目標とします。

令和5年度シラバス（国語）

学番 44 新潟県央工業高等学校

教科（科目）	単位数	学年	学科・コース	授業形態
国語（言語文化）	2	2学年	工業科	一斉授業
使用教科書・副教材等	高等学校 精選現代の国語（第一学習社） 精選現代の国語 学習課題集（第一学習社） 新訂チャレンジ常用漢字（第一学習社）			

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- （1） 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- （2） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （3） ことばがもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 科目の特色・指導の重点

文章を的確に理解し、考え方や感じ方を深めることを目指す。さらにそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てる。

3 評価の観点と評価方法

観点	評価基準	評価方法
① 知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	定期考査 小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告
② 思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	定期考査 小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告
③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。	小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告

4 学習の計画（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）

学期	学習項目	時数	学習内容(ねらい)・評価の観点	①	②	③	評価方法
1 学期	山崎正和「水の東西」(6時間)	6	・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本文化の特徴について論じる叙述の方法を把握する。	○	○		定期考査 小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告
	スピーチで自分を伝える(8時間)	8	・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の考えをまとめ、発表する。 ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。	○	○	○	
	話し方の工夫 待遇表現	4	・他の人のスピーチを聞き取り、相互評価する。 ・進んで材料を集めたり吟味したり、また表現や話し方を工夫して効果的に話そうとする。 ・相手・目的・場面に応じた話し方を理解する。	○	○	○	

	論理的な表現 (4時間)		・敬語表現を理解する。 ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。	○	○	
	高階秀爾「間の感覚」 (2時間)	2	・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・日本文化の特徴について述べた文章を読み、自分の考えをまとめ発表する。	○	○	
	中間考査・期末考査 (2時間)	2		○	○	
2 学 期	中村桂子「生き物として生きる」 (6時間)	6	・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・筆者の提案する人間の生き方について、自らの考えをまとめ、発表する。	○	○	定期考査 小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告
	平野啓一郎『本当の自分』幻想 (6時間)	6	・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力をもたせるための論の展開について考える。	○	○	
	書き方の基礎レッスン (2時間)	2	・自己と他者について述べた文章を読み、自分の考えをまとめ発表する。	○	○	
	意見文を書く (6時間)	6	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・効果的に書くための方法を理解し、表現の工夫を身につける。	○	○	
	合意形成のための話し合いを行う(4時間)	4	・意見文とはどういうものかを理解する。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 ・説明や表現の仕方を工夫し意見文を書く。	○	○	
	中間考査・期末考査 (2時間)	2	・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・合意形成のための話し合いの重要性を認識し、話し合いの進め方を理解する。	○	○	
3 学	港千尋「無彩の色」 (6時間)		・文章の展開の仕方を的確に捉え、筆者の考えを理解する。 ・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、論拠としてあげる事例を把握する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の考えをまとめ、発表する。	○	○	定期考査 小テスト ノート・課題提出 授業態度 発表・報告
	鈴木孝夫「ものとことば」(6時間)		・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の主張する言語の性質を理解する。	○	○	
	プレゼンテーションを行う(9時間)		・言語についての自分の考えをまとめ発表する。 ・プレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・相手・目的・場所を考慮し、表現や話し方を工夫しながらプレゼンテーションを行う。	○	○	
	期末考査(1時間)			○	○	

計 70 時間(50分授業)

* 領域毎の授業数合計(考査5時間を除く)

領域毎の授業数合計	「話すこと・聞くこと」 25時間	「書くこと」 14時間	「読むこと」 26時間
-----------	---------------------	----------------	----------------

5 その他(担当者からの一言・留意点など)

「現代の国語」は、実社会に生きて働く国語の能力を育成する科目です。文章を読む活動とともに実際に話したり書いたりする学習活動を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力、及び協働的に学ぶ力を伸ばすことを目標とします。